

バンギラス		いわ	あく	HP	攻撃	防御	特攻	特防	早さ
すなおこし	なし		きんちょうかん	100	134	110	95	100	61
メガ進化	いわ	あく	すなおこし	100	164	150	95	120	71
主な持ち物	バンギラスナイト、こだわりスカーフ、きあいのタスキ、こだわりハチマキ、こだわりメガネ オボンのみ、シユカのみ、ヨブのみ、ラムのみ、ふうせん、								
主な技	おいうち、ストーンエッジ、かみくだく、ステルスロック、だいもんじ、でんじは、りゅうのまい じしん、どくどく、まもる、れいとうビーム、あくのはどう、ちょうはつ、ほえる								

特徴 シングルで最も型が多いと言って過言でないポケモン。砂嵐ターンが減少したがドリュウズや「みがわり」ガブリアスと組み合わせなければ、あまりマイナスの影響はない。「どくどく」「まもる」といった持久戦用の型も、耐久よりのポケモンと組んで頻りに交代して戦うことが多いので、影響はそこまで多い訳ではない。むしろ、相手のサンダーにバンギラスを後出したときに「でんじは」を受けて、その後「みがわり」ガブリアスに繋がれて自分のバンギラスが起点になるパターンが防げるので、砂嵐ターン減少はプラスの影響の方が大きいとも言える。型はとても多いが、『こだわりスカーフ』持ち、メガ進化「りゅうのまい」、『こだわりハチマキ』などを持ち自身で一気に攻める型、調整配分や持ち物の工夫をして1対1で勝てる範囲を増やす型、耐久を重視して持久戦を得意とする型、に大別される。1対1の強さを重視する場合は、対ガブリアスのために「れいとうビーム」を持たせて、特殊型にする場合もしばしば。特殊型は「おにび」の影響も少なく、「おにび」炎ロトムなどを相手にするときにも役立つし、ギルガルドの「キングシールド」対策にも便利。耐久型は「ステルスロック」を無理なく採用出来るのが利点。バンギラスを採用する際は、ガブリアス、格闘ポケモン、メガフシギバナ、「おにび」の対策を重視したい。

対策 『こだわりスカーフ』『こだわりハチマキ』、「りゅうのまい」と、こちらの行動次第で相手が一気に有利になる型が複数存在するのが非常に厄介。様子見で交換して「おいうち」を受けるというのもよくある展開で、一度不利な対面を作ったらかなり処理に困ってしまうポケモン。まず大切なのは、『こだわりスカーフ』バンギラスの素早さ186が重要なラインであると認識して、「りゅうのまい」ギャラドスなどで最速バンギラス抜きを確保していく。続けて、「りゅうのまい」をされた後にきちんと対処できるようにすることが大切。バンギラスの起点にされやすいポケモンには「でんじは」を入れる、「れいとうパンチ」がまだないのでガブリアスやブリガロンで対策する、ローブシンやキノガッサで「マッハパンチ」を打つ、「りゅうのまい」1回で全抜きされるような選出をしない、辺りが「りゅうのまい」対策の定番。バンギラスは格闘ポケモンやドリュウズは極端に苦手なものの、それ以外だと無理やり押し切る強さもあるので、シングルで特に対策を厚くしたいポケモンの一体である。

スカーフ型	すなおこし	HP	攻撃	防御	特攻↓	特防	早さ↑	性格
こだわりスカーフ		177	178	137	xx	121	124	ようき
ストーンエッジ	かみくだく	おいうち			じしん、いわなだれ、げきりん			
AS252 振りでも問題ないが、上の振りは『こだわりハチマキ』ハッサムの「バレットパンチ」耐え調整。割と色々な構築に採用しやすい型で、構築の穴埋めにも入ってきやすいだろう。								
ハチマキ型	すなおこし	HP	攻撃↑	防御	特攻↓	特防	早さ	性格
こだわりハチマキ		207	202	131	xx	121	83	いじっぱり
ストーンエッジ	かみくだく	じしん			おいうち			
HA252 振りをベースに少し素早さを上げている。一度有利対面を作れたら場を大きく荒らせるので、バンギラス中心の選出をしていきたい。AS252 振り、調整配分、の選択も取れて、能力値に幅があるポケモン。								
メガ進化	すなおこし	HP	攻撃	防御	特攻↓	特防	早さ↑	性格
バンギラスナイト		206	187	171	xx	141	135	ようき
ストーンエッジ	かみくだく	りゅうのまい			じしん、ちょうはつ			
『こだわりスカーフ』バンギラスに抜かれたくないので[ようき]で紹介。自分で使うと相手に一撃で倒せる相手があまり多くないので、使いにくさも感じるかもしれない。低火力のポケモンを起点に舞って、HPをある程度残したまま相手のポケモンと対面していくことが大切となる。攻撃は十分高いので今回は HS252 で紹介した。								